

2023年12月期 決算説明資料

2024年2月22日



内外トランスライン株式会社

International Freight Forwarder

プライム市場 9384

決算概要

連結実績

(百万円)

	2022	2023	対前年 増減率	2023 修正予想 (9月29日)	対修正予想 乖離率
売上高	47,320	32,280	△31.8%	32,000	0.9%
営業利益	6,680	4,203	△37.1%	4,200	0.1%
経常利益	6,874	4,446	△35.3%	4,500	△1.2%
親会社株主帰属 当期純利益	4,651	3,041	△34.6%	3,000	1.4%

為替レート ¥/US\$

131.64

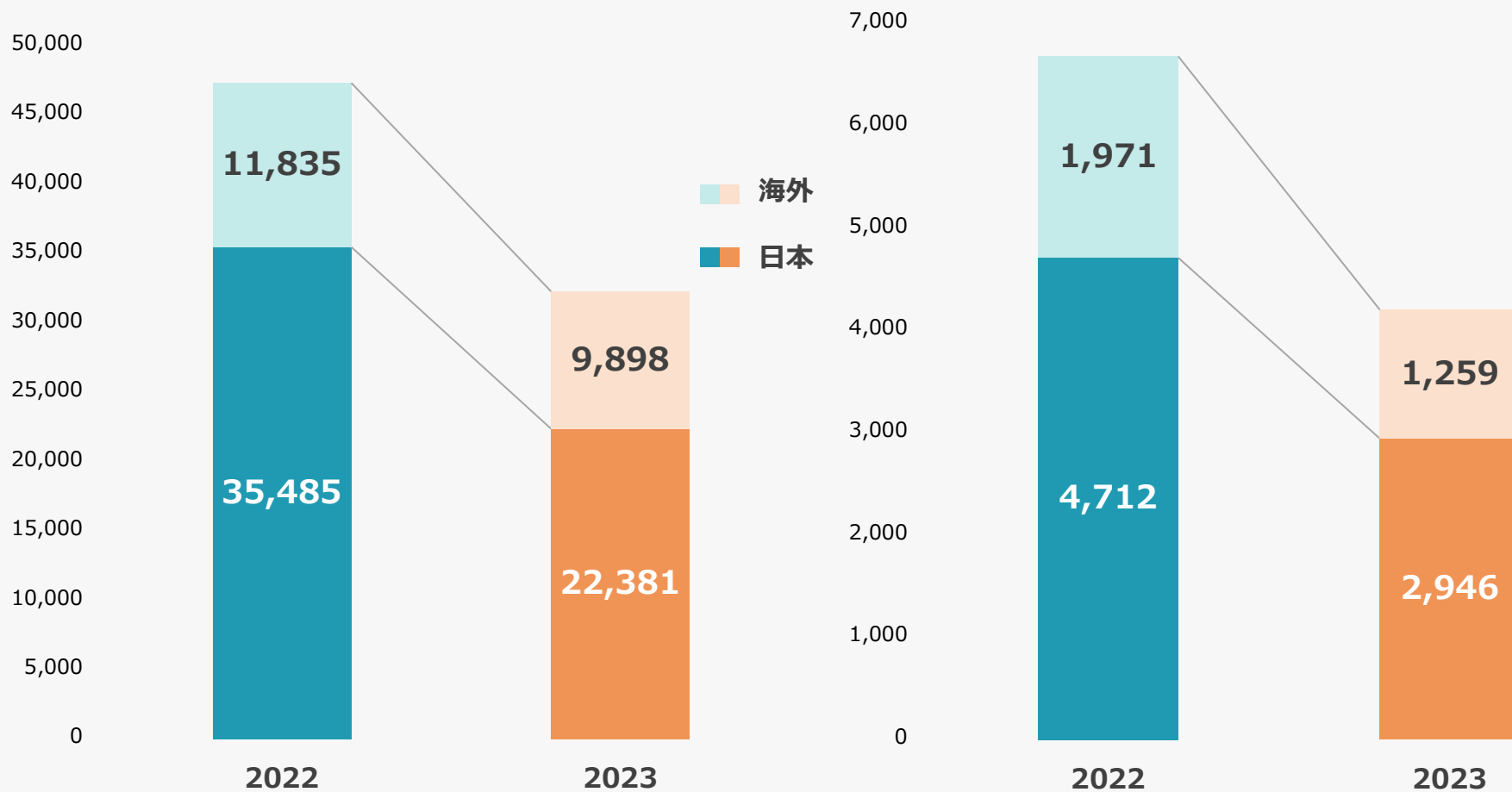
140.66

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)

売上高

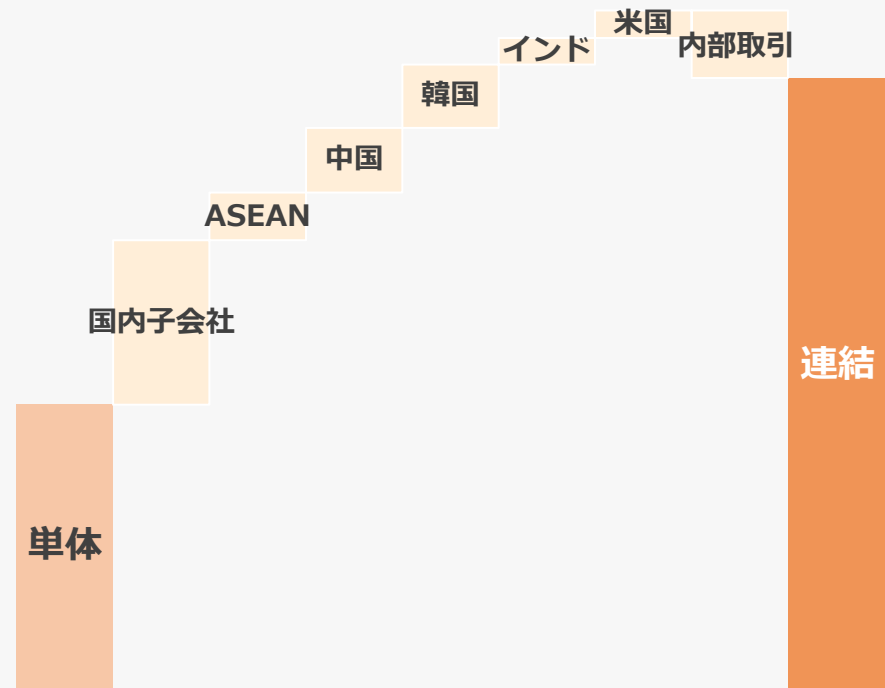
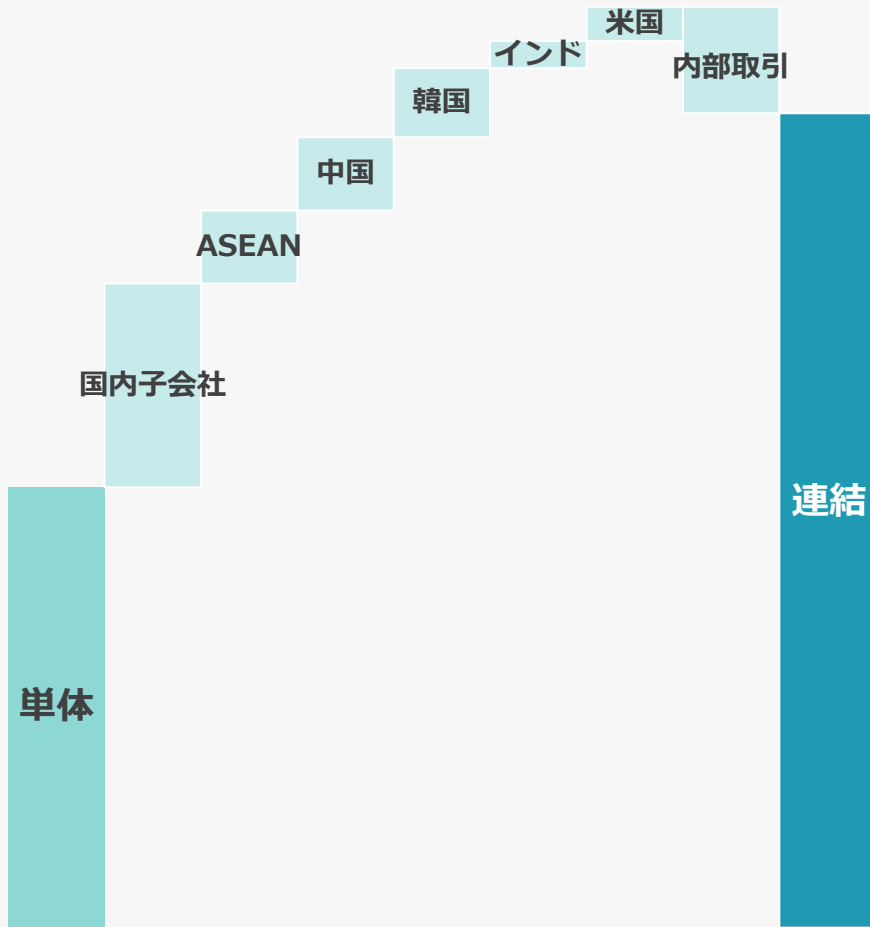
営業利益



当社グループ売上高の割合

2022

2023



* 単純合算

* ASEAN: シンガポール・タイ・インドネシア

グループ業績ハイライト

▶ 単体

- 運賃の下落や取扱数量の減少が響き減収減益。

<ユーシーアイエアフレイトジャパン>

- 主力とする航空輸送の運賃下落により減収減益。

▶ 国内 子会社

<フライングフィッシュ>

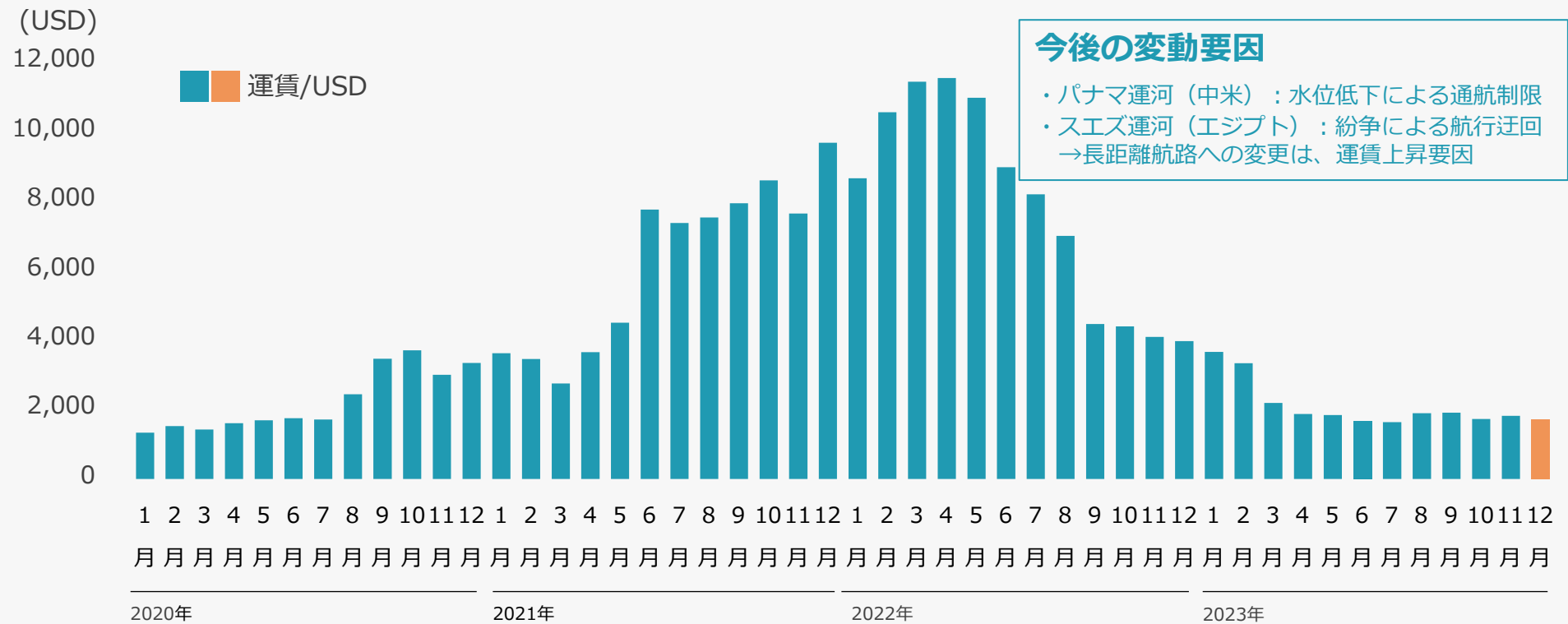
- 運賃下落の影響により減収。

利益の確保に努めた結果、売上総利益では前年比増益。
新システムの投資等により販管費が膨らみ営業利益は前年比減益。

▶ 海外 子会社

- 運賃の下落及び日本からの混載貨物減少の影響を受け、減収減益。

北米航路月別海上運賃の推移(横浜/20ft)



横浜/ロサンゼルス航路コンテナ運賃動向

2024年1月31日

(USD)

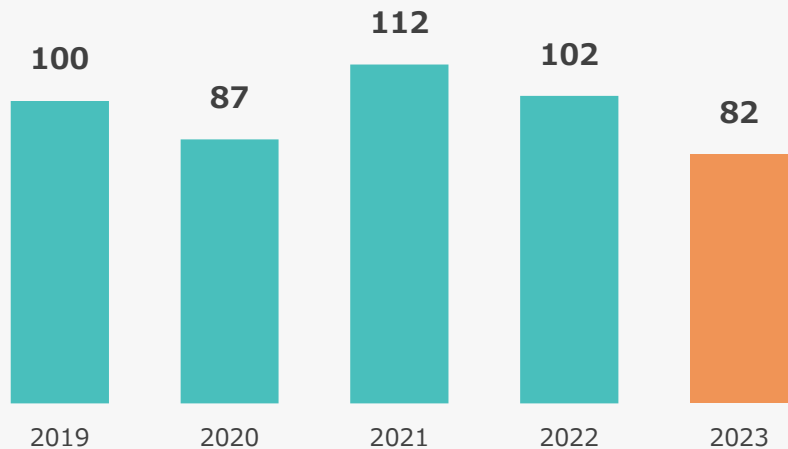
年	サイズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	20ft	8,661	10,558	11,442	11,550	10,978	8,982	8,202	6,996	4,462	4,390	4,090	3,966
	40ft	10,940	12,520	14,376	14,322	13,524	11,506	10,440	9,093	6,649	6,186	5,658	5,503
2023年	20ft	3,662	3,332	2,192	1,871	1,840	1,657	1,637	1,894	1,908	1,725	1,812	1,714
	40ft	4,946	4,632	3,486	2,563	2,328	2,166	2,106	2,484	2,499	2,248	2,382	2,230

※(公)日本海事センター：コンテナ運賃動向資料を基に当社にて作成

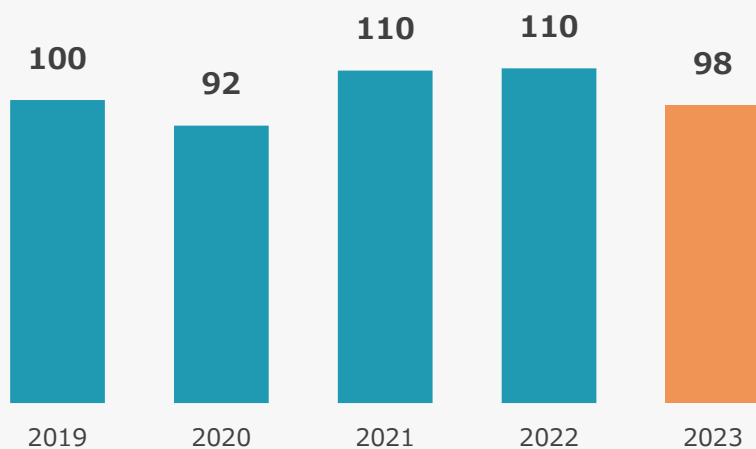
単体混載売上数量・単価推移

※2019年を100とする

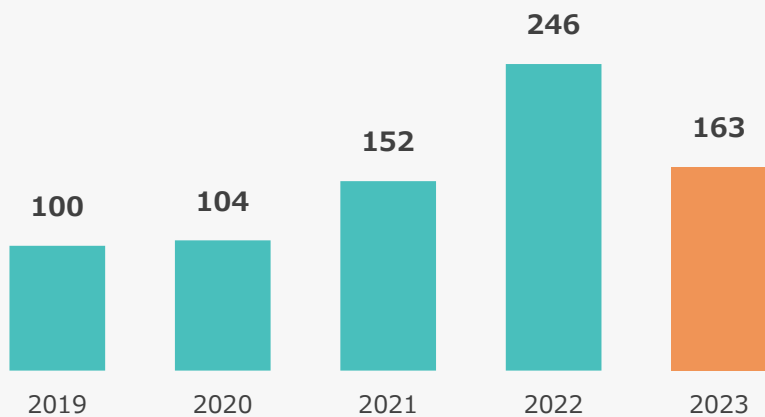
輸出混載数量



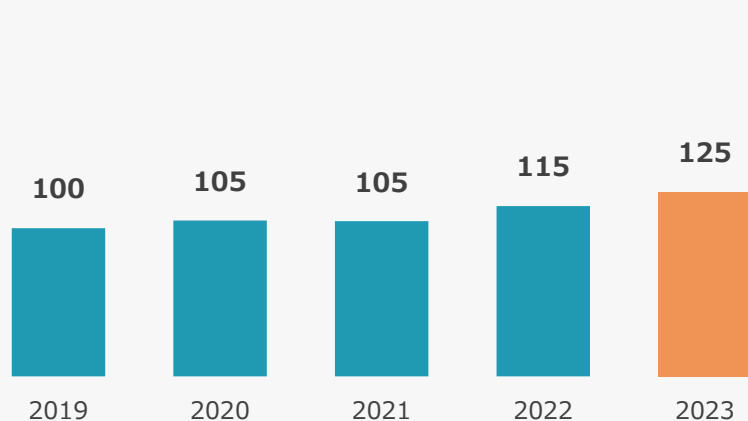
輸入混載数量



輸出混載売上単価



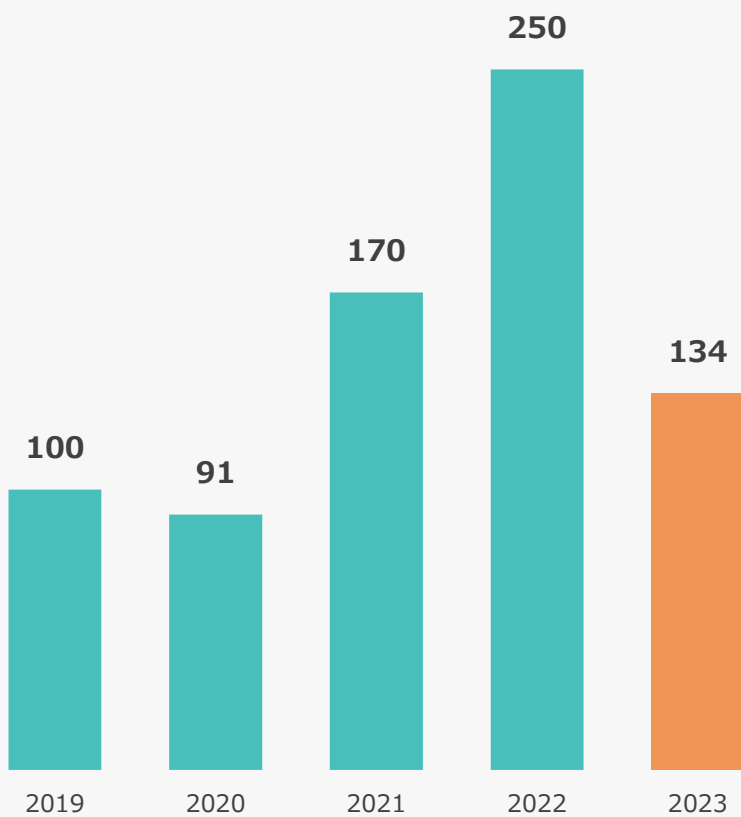
輸入混載売上単価



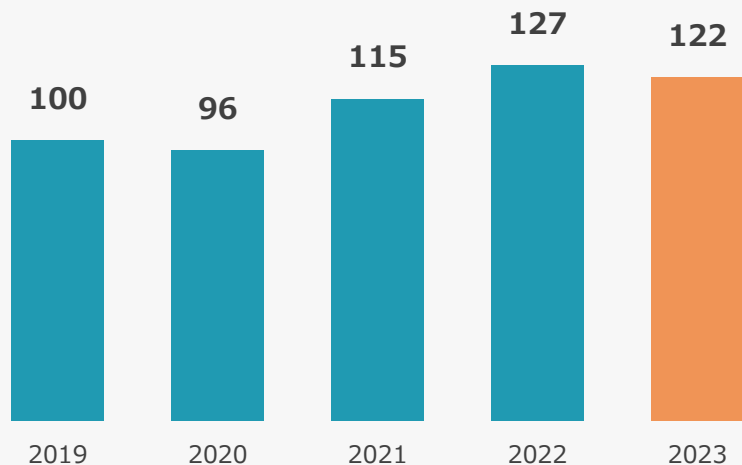
単体混載売上高推移

※2019年を100とする

輸出



輸入



連結貸借対照表の概要(前期末比)

(百万円)

<主な変動要因>

流動資産

- ・現金及び預金 $\Delta 408$
- ・売掛金 $\Delta 787$

固定資産

- ・建物及び構築物 $+2,080$

総資産額 23,362 (+1,229)

流動負債

2,141
($\Delta 1,654$)

固定負債

839
(+11)

純資産

20,381
(+2,871)

流動資産

17,105
($\Delta 1,089$)

固定資産

6,257
(+2,318)

自己資本比率 83.4%

<主な変動要因>

流動負債

- ・買掛金 $\Delta 287$
- ・未払法人税等 $\Delta 1,186$

固定負債

- ・繰延税金負債 $+104$

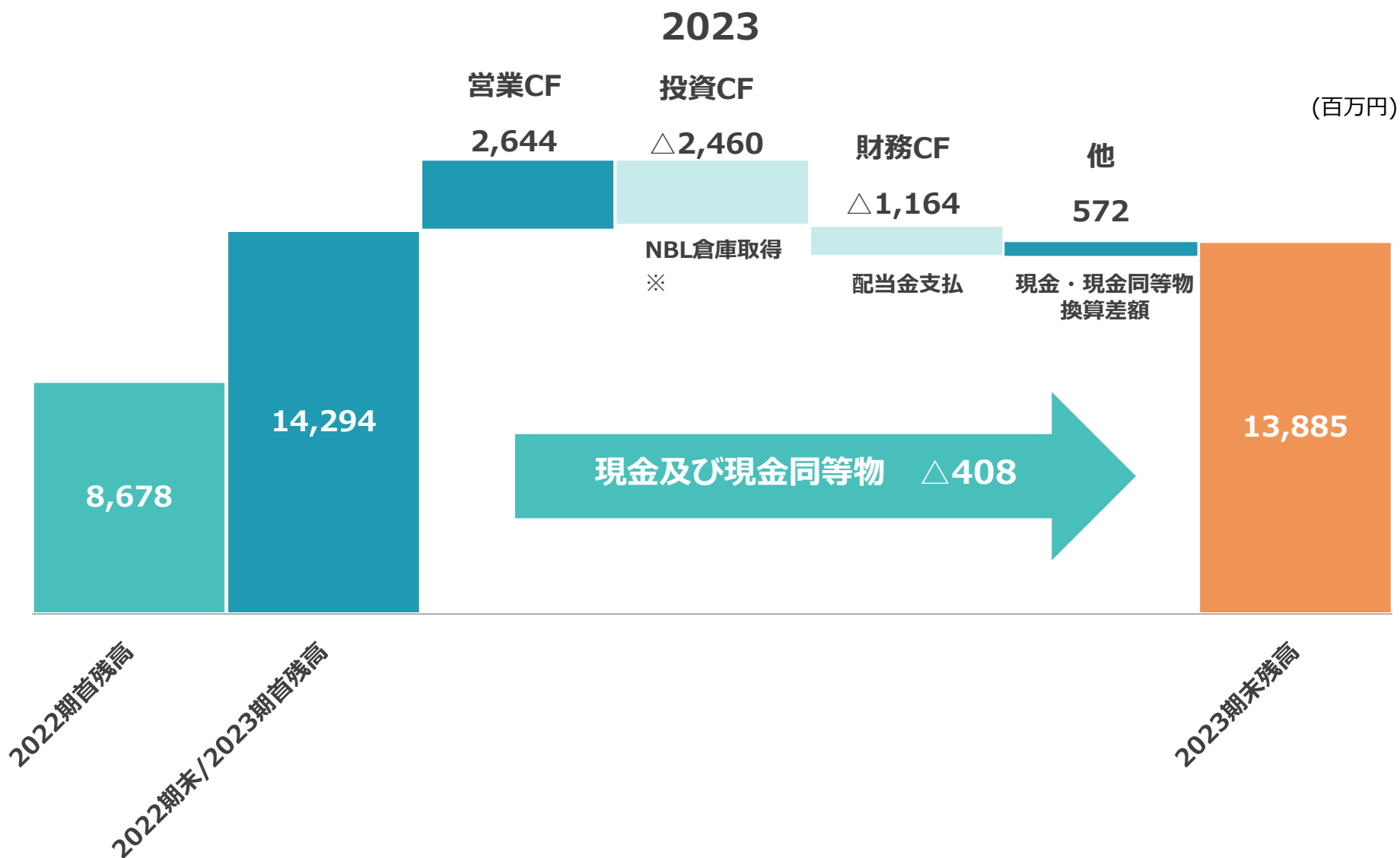
純資産

- ・利益剰余金 $+2,112$
- ・為替換算調整勘定 $+686$

() 内は前期末比増減

2023年12月末現在

連結キャッシュフロー計算書の概要



※ NBL…内外釜山物流センター(韓国の連結子会社)

当社の投資の推移

単体の貸借対照表上の「投資その他資産」推移



※1 NBL…内外釜山物流センター(韓国の連結子会社)

※2 2011年、2016年の「連結当期純利益－単体当期純利益」については、連結でのれん減損損失等を計上したことにより、「連結当期純利益<単体当期純利益」となったため、ゼロで表示。

中期経営計画と進捗状況

第5次中期経営計画（2023年～2027年） ※1

当社グループが目指すもの

国際物流における
最高のソリューション
プロバイダーでありたい!

基本方針

真の国際総合フレイト
フォワーダーを目指す

本業の混載で
国内シェアトップ
維持拡大

第2の本業として
フォワーディング
を徹底的に拡大

グループ
売上高
700億円
(2027年度)

当期純利益※2
50億円
(2027年度)

[2023年2月10日公表資料]

※1 中長期的視点で経営する目的で5か年で設定

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

中期経営計画 施策と進捗状況①

国内

混載事業

事業ノウハウやネットワークを活かし業界地位を堅持、安定的収益確保を実現

- 大阪と東京の「二本社制」とし、営業推進、情報収集、優秀な人材を獲得
- 「東京本社営業部」を再編し、営業体制を強化
- 「品質管理担当」を東京本社に配置

フォワーディング事業

グループ間の最適な組織編成により売上と利益の増加を目指す

- 海外現地法人の経営トップに国内グループ会社から人材を起用
- 「ロジスティックソリューションチーム」を神戸から大阪本社に移管し体制を強化
- 事業の拡大を図るべく、単体で6名、国内子会社で3名の専門要員を採用



「ロジスティックソリューションチーム」による大型貨物輸送の様子

中期経営計画 施策と進捗状況②

海外

代理店

さらなる関係強化を図るとともに再編を視野に入れた効率的な運用を行う

→**バングラデシュ向け新サービス開始に伴う新規代理店との契約など**
代理店網の拡大

新規拠点設立

今後成長が期待できるエリアでの現地法人や駐在員事務所の設立を検討

→**インドネシア現法のスラバヤ支店開設**

既存拠点の業務拡大

現地スタッフによる地場企業向けの輸出営業のインフラを構築、日本以外への輸出獲得を目指す

→**韓国で倉庫を取得**

インドネシア



スラバヤ支店

中期経営計画 投資戦略と進捗状況

1 M&A 等

M&A、資本提携、業務提携により既存事業の規模拡大やシナジー効果を生み出す
→案件発掘からクロージングまでの分業体制を構築

2 人材・教育

国内外ともに新規事業、営業スタッフ拡充等の人材投資や社員能力向上のための教育研修投資を行う
→人事制度改革実施に向けコンサルティング会社に業務委託
組織効果性サーベイ、エンゲージメントサーベイを実施

3 DX

営業支援、業務効率化、顧客サービス充実のため一層のDX推進を図る
→RPAツールを取り入れ、定型業務を自動化し業務を効率化
フライングフィッシュが物流可視化プラットフォームを導入

4 アセット 事業

海外を中心に倉庫等のアセットを取得、事業領域の拡大を図る
→内外釜山物流センター(NBL)が釜山で物流倉庫を取得

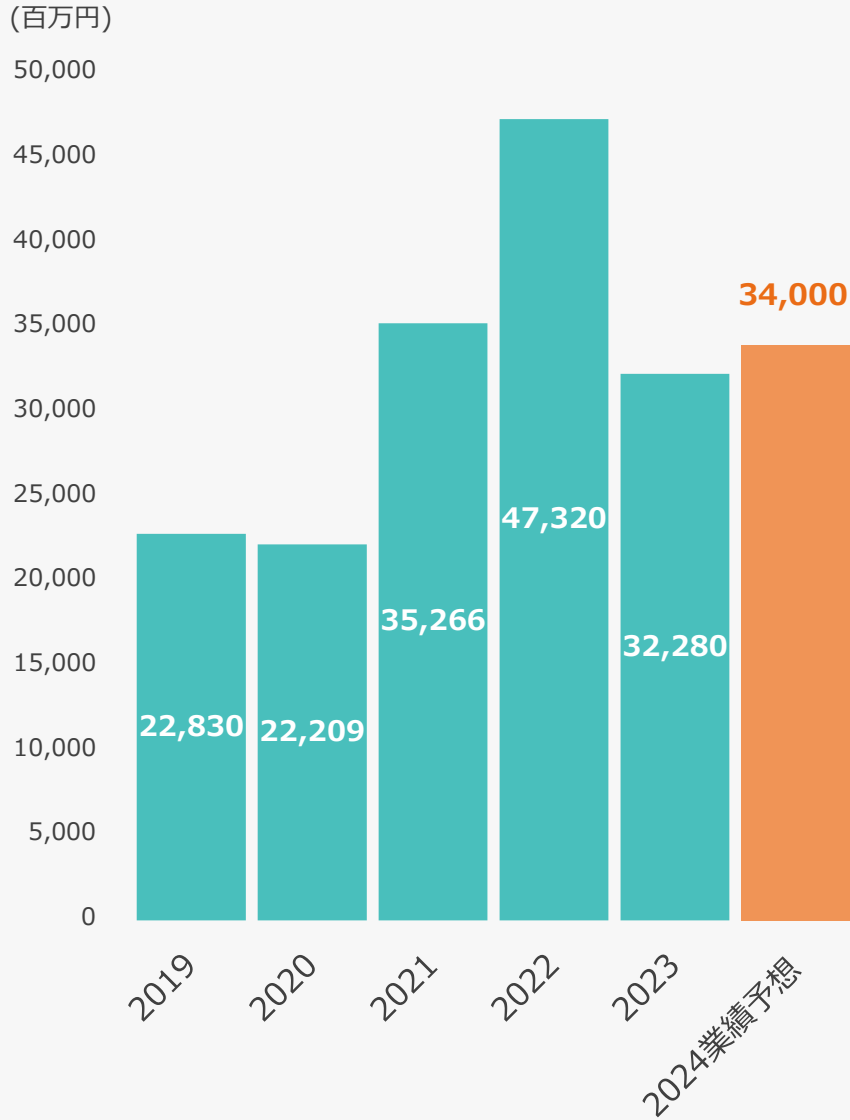
5 ESG・ SDGs

CGコードに則って対応し、環境分野については、温室効果ガスの排出量削減対策を講じる
→サステナビリティ経営のコンサルタントと契約
CDPの気候変動スコアリングの格付けを取得
サステナビリティ委員会発足

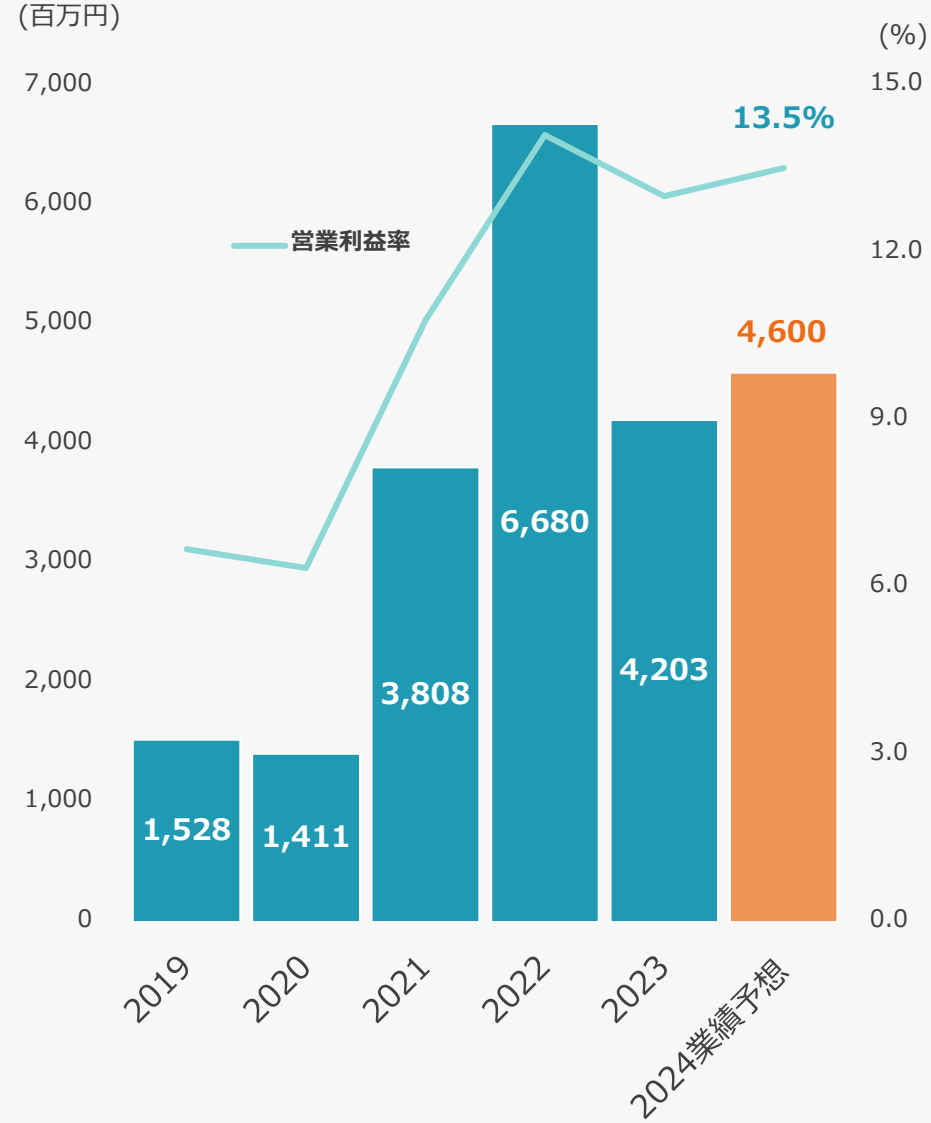
今期業績予想

連結売上高・営業利益業績予想

売上高



営業利益



その他

- SDGsへの取組み
- 配当金の実績と予想
- 当社株価の推移

SDGsへの取り組み

当社は経営理念のもと SDGsと行動規範を関連付け グループ経営を推進

(経営理念・行動規範 2006年7月制定)

※内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



■ 当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協調の精神を持って行動します

- 女性活躍推進
- シニア雇用
- 育児・介護休業制度



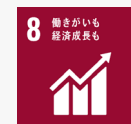
私たちは会社の仕事を通じて社会への貢献を果たします

- 地域社会の発展・活性化・次世代育成
- 環境負荷低減
- CO₂排出量の算出
- サステナビリティ委員会の設置



私たちはたゆまぬ努力により自己の成長を図り、社会を
発展させてゆきます

- 社会・経済の発展に貢献



配当金の実績と予想

(配当金/円)

100.00

■ 期末 ■ 中間 ■ 記念

90.00

80.00

70.00

60.00

50.00

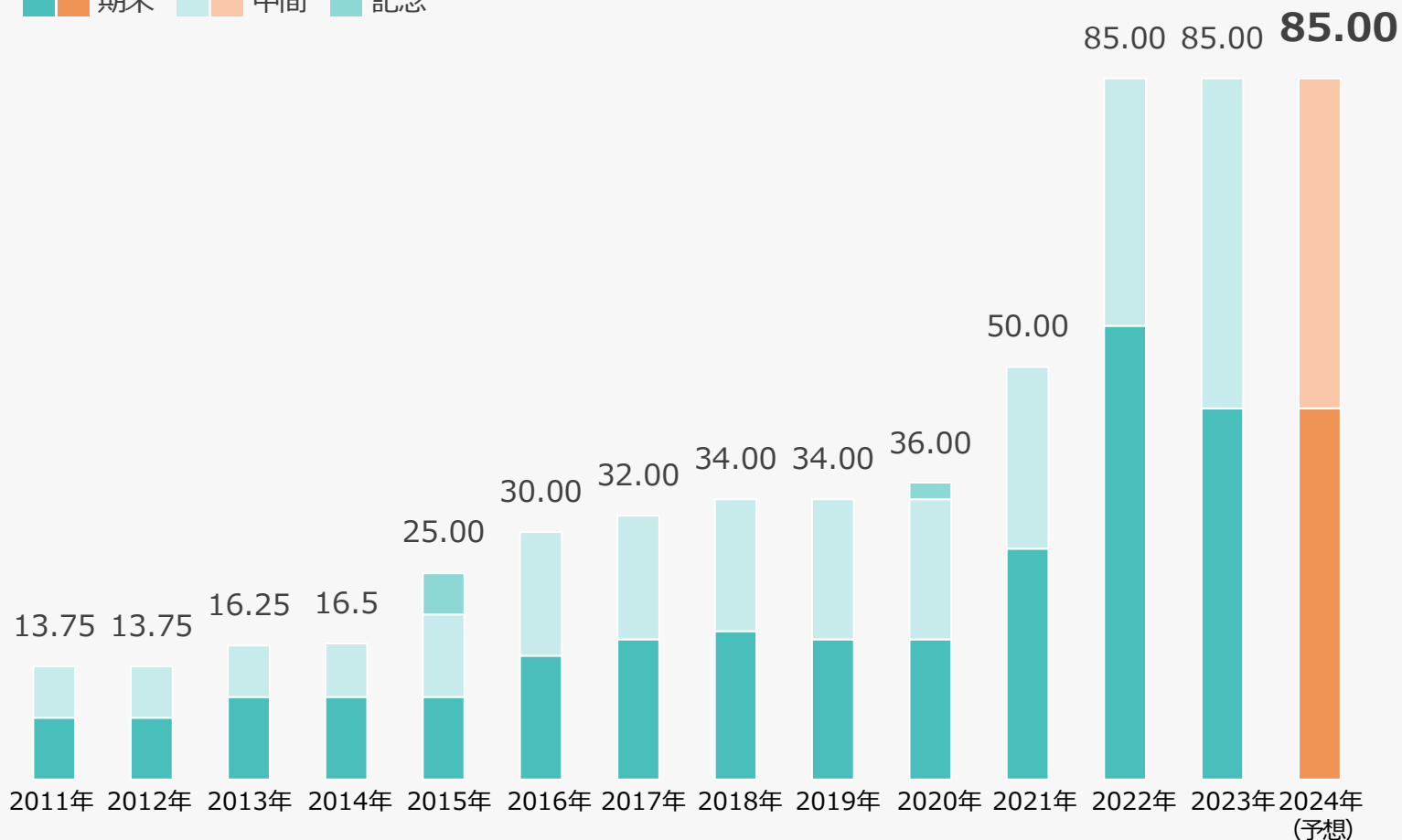
40.00

30.00

20.00

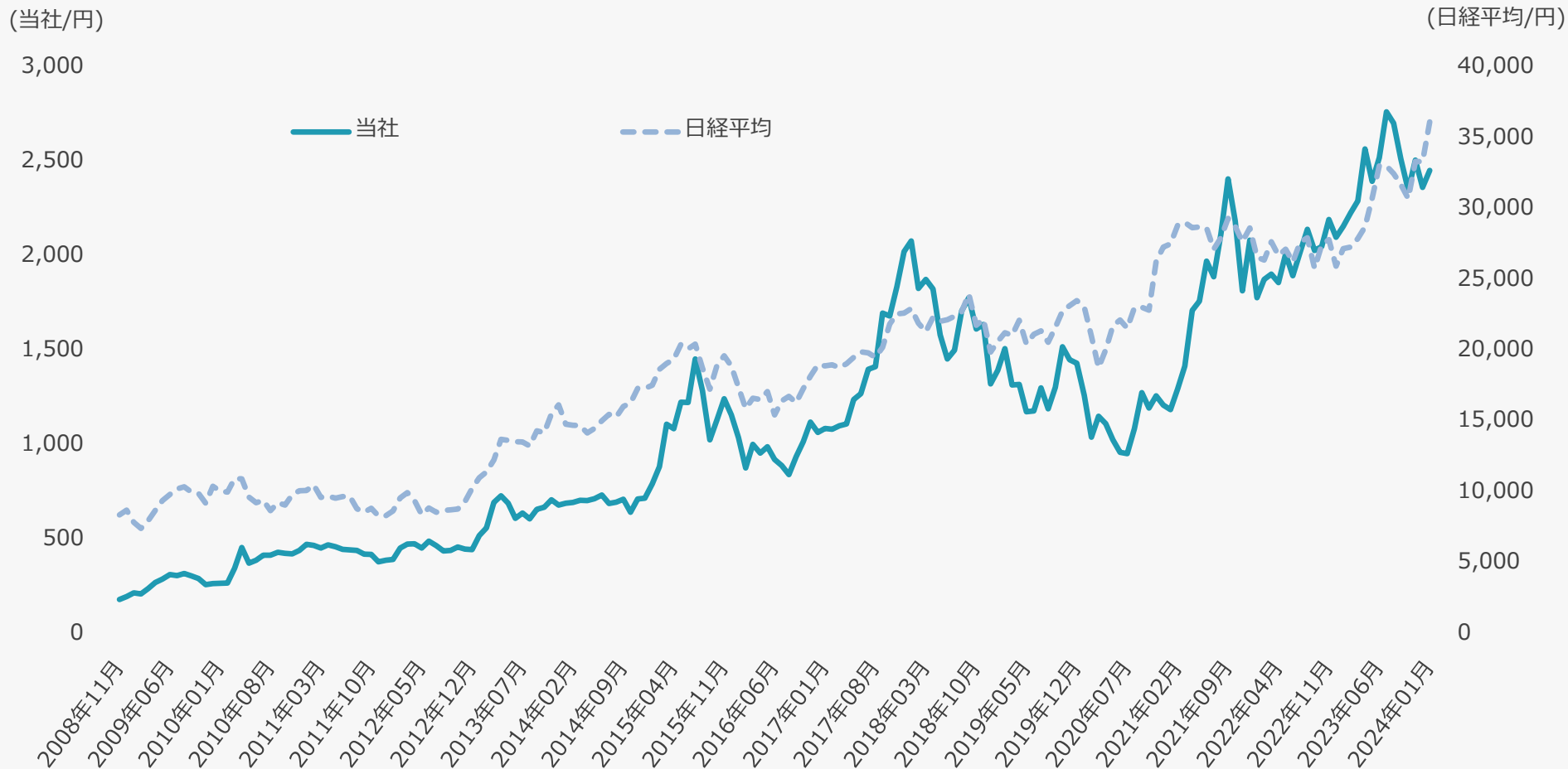
10.00

0.00



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

当社株価の推移



※2012年と2015年6月を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、分割後の株価を基に算出

出典：Yahoo! JAPANファイナンスを基に当社作成 (株価は月末終値)

ご清聴ありがとうございました



お問合せ先：取締役 IR担当 三根 英樹

大阪本社 大阪市中央区備後町2丁目6番8号 サンライズビル5階

TEL 06-6260-4800 **URL** <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。